

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト

(福井都心地区特定景観計画区域(福井城址公園ゾーン)用)

<行為の種類> 建築物の新築等

配慮すべき基本的基準	1 周囲の景観への影響について十分に検討し、デザイン(形態、色彩、素材をいう。)等に工夫をする。	
	2 快適な歩行者空間を創出するため、外構においても十分に工夫をする。	
	景観形成の方針	福井城址を核とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成
	<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的・詳細に記述>	

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目	適合のチェック	景観形成基準
項目別基準	敷地内における位置及び外構	<input type="checkbox"/> ◎暮らしに潤いや安らぎを与えるとともに、訪れる人をもてなすため、道路との境界部は、樹木や花き等を用いてしつらえる。
		<input type="checkbox"/> ・緑化にあっては、四季を感じることができ、城址景観との調和に配慮した樹木や花き等を用いることが望ましい。
		<input type="checkbox"/> ・できる限り敷地を統合して建築物の共同化に努め、建物配置を工夫することにより敷地に余裕を持たせ、セミパブリック空間の創出を図ることが望ましい。
		<input type="checkbox"/> ・敷地が大規模である場合は、建築物や外構の配置を工夫し、福井城址への視線の抜けを設けることが望ましい。さらに、福井城址への通過性を高めるため、バリアのない通り抜け空間として整備することが望ましい。
		<input type="checkbox"/> ・大規模な建築物の場合は、できる限り高木を設け、建築物による圧迫感を軽減することが望ましい。
		<input type="checkbox"/> ・敷地に余裕がある場合は、できる限り前面道路からセットバックし、また、セットバックした空間にあっては、修景等のしつらえをすることが望ましい。
		<input type="checkbox"/> ○道路に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、デザインについて建築物及び周囲の景観と調和させるとともに、快適な歩行者空間の創出に資するよう努める。
		<input type="checkbox"/> ◎特に堀に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、必要以上に高くせず、福井城址の歴史的環境に配慮したデザインとする。
高さ	<input type="checkbox"/> ○福井城址の歴史的環境に配慮し、建築物の高さは低く抑えるよう努める。	
	<input type="checkbox"/> ・ヒューマンスケールのまちなみを形成するため、3階建までに抑えることが望ましい。	
形態	<input type="checkbox"/> ◎福井城址の歴史的環境に配慮したデザインとする。	
	<input type="checkbox"/> ○立体駐車場は、周囲の建築物と違和感のない形態とするよう努める。	
	<input type="checkbox"/> ・屋根及び屋上の形状については、できる限り周囲の建築物のとの連続性に配慮することが望ましい。	
	<input type="checkbox"/> ・遺構がある場合は、デザインに取り入れることが望ましい。	

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	色	色彩	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			・特に外壁は、マンセル値による色相が R・YR・Y 系以外の色は、彩度2以下とすることが望ましい。
<input type="checkbox"/>			○大規模な建築物は、周囲に与える圧迫感等を軽減するため、低明度の色彩は使用しないように努める。
<input type="checkbox"/>			○使用する色数は、できる限り少なくし、全体としてのバランスを阻害しないよう努める。
素材、材料		<input type="checkbox"/>	◎時間経過を考慮し、汚れにくく、耐久性のある素材、材料を使用する。
		<input type="checkbox"/>	○時間経過により魅力が増す木材や石材などの自然素材もしくは質感を重視した素材、材料をできる限り用いるよう努める。
※堀に面する建築物に限る 窓等開口部、シャッター		<input type="checkbox"/>	◎窓等開口部は、大きさ、配置等について建築物と調和したデザインとし、単調で閉鎖感のある壁面としない。
		<input type="checkbox"/>	○1階部分に店舗がある場合は、ショーウィンドー等で演出するよう努める。
		<input type="checkbox"/>	・ショーウィンドーを設けた場合は、閉店後の夜間もショーウィンドー内を照らすことが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	・1階部分に店舗がある場合は、シースルーシャッター等を設けて、閉店後の通りが殺風景とならないようにすることが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	・堀との関係性を持たせるため、堀に向かって開口部や出入口を設けることが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	・1階部分には、できる限りガラス等の透過性の高い素材を用いることが望ましい。
ベランダ等	<input type="checkbox"/>	○ベランダ等は、建築物との調和に配慮したデザインとなるよう努める。	
	<input type="checkbox"/>	○特に、洗濯物やエアコン室外機、収納庫等は、福井城址や道路等の公共空間から目立たないよう努める。	
屋外階段	<input type="checkbox"/>	○色彩の工夫や隠蔽処置等により、建築物との調和に配慮したデザインとなるよう努める。	
附帯設備物	<input type="checkbox"/>	◎福井城址や道路等の公共空間から目立つ位置には、設置しない。ただし、目立たないよう工夫されたものについては、この限りでない。	
	<input type="checkbox"/>	○建築物との調和に配慮したデザインとなるよう努める	
附属建築物	<input type="checkbox"/>	○車庫、自転車置場、倉庫、設備機械室、ごみ集積所等の附属建築物は、主建築物と調和させ、一体感のあるものとするよう努める。	
	<input type="checkbox"/>	・福井城址や道路等の公共空間から目立たないよう十分配慮した位置に設け、これが困難な場合は、植栽等により隠蔽措置を行うことが望ましい。	

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト

(福井都心地区特定景観計画区域(福井城址公園ゾーン)用)

<行為の種類> 工作物の新築等

配慮すべき基本的基準	1 周囲の景観への影響について十分に検討し、デザイン(形態、色彩、素材をいう。)等に工夫をする。	
	2 快適な歩行者空間を創出するため、外構においても十分に工夫をする。	
	景観形成の方針	福井城址を核とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成
	<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的・詳細に記述>	

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	位置及び外構	敷地内における	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			○敷地内における位置は、福井城址の歴史的環境に悪影響を与えない位置とするよう努める。
<input type="checkbox"/>			・大規模な工作物は、福井城址から容易に望見できる場所にはできる限り設置しないことが望ましい。
高さ	高さ	<input type="checkbox"/>	○福井城址の歴史的環境に悪影響を与えない高さとするよう努める
		<input type="checkbox"/>	○特に福井城址から容易に望見できる工作物については、形態意匠に配慮し、福井城址からの眺望への影響を軽減するよう努める。
形態	形態	<input type="checkbox"/>	◎公共空間に設置する歩行者系標識(サイン)は、「福井市公共サインマニュアル」を遵守する。
		<input type="checkbox"/>	・主建築物又は周囲の景観に調和した形態とすることが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	○道路に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、緑化や色彩の工夫、壁面形状に変化をつけるなどの修景措置を行うよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○特に堀に面して垣、柵又は塀を設ける場合は、福井城址の歴史的環境に配慮したデザインとするよう努める。

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目		適合の チェック	景観形成基準
項目別 基準	色 彩	<input type="checkbox"/>	◎法令で定められたもの以外の色は、マンセル値による彩度 4 以下、無彩色は明度 2 以上とする。 ※ただし、次にかかる部分は除く ・着色していない石材、木材、土壁、レンガ、金属材、ガラス材等によって仕上げられる部分の色彩 ・面積を抑え外観のアクセント色として着色される部分の色彩
		<input type="checkbox"/>	○特に堀に面する工作物の色は、彩度 2 以下とし、福井城址の歴史的環境に配慮するよう努める。
		<input type="checkbox"/>	・マンセル値による色相が R、YR、Y 以外の色は、彩度 2 以下とすることが望ましい。
		<input type="checkbox"/>	○福井城址から容易に望見できる工作物については、福井城址からの眺望景観を阻害しない色彩とするよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○使用する色数は、可能な限り少なくし、全体のバランスを阻害しないよう努める
		<input type="checkbox"/>	・自動販売機及びモニュメント等については、上記によらず、周囲の景観に調和した色彩とすることが望ましい。
素材、 材料	<input type="checkbox"/>	◎時間経過を考慮し、汚れにくく、耐久性のある素材、材料を使用する	
	<input type="checkbox"/>	○時間経過により魅力が増す木材や石材などの自然素材もしくは質感を重視した素材、材料をできる限り用いるよう努める。	

景観計画区域内における景観形成基準のチェックリスト

(福井都心地区特定景観計画区域(福井城址公園ゾーン)用)

<行為の種類> その他の行為

配慮すべき基本的基準	周囲の景観への影響について十分に検討し、その影響を必要最小限に留めるよう工夫する。	
	景観形成の方針	福井城址を核とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成
	<基本的基準に基づいて、景観に配慮した点・デザイン等に工夫した点などを具体的に・詳細に記述>	

(「◎」は必ず守るべき基準、「○」は努力することが必要な基準、「・」は推奨する基準)

項目別基準	項目	適合のチェック	景観形成基準
	土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他土地の形質の変更	<input type="checkbox"/>	○当該行為に係る区域の周囲には、植栽又は景観に配慮した塀を設けるなど、福井城址の歴史的環境に悪影響を与えないよう努める。
		<input type="checkbox"/>	○道路等の公共空間から容易に見える位置に長大なのり面や擁壁が生じる場合は、のり面や擁壁面を緑化し、又はその前面に植栽するよう努める。
		<input type="checkbox"/>	・行為後の跡地の自然環境を復元するにあたっては、その地域の植生に適した樹種を植栽することが望ましい。
	木竹の伐採	<input type="checkbox"/>	○樹種、樹齢、樹形等の木竹の状況又は生態系を考慮し、価値の高いもの、地域におけるランドマークとして親しまれているものは伐採しないよう努める。
		<input type="checkbox"/>	・木竹の伐採後は、その地域の植生に適した樹種を植栽することが望ましい。
	屋外における土石、廃棄物及び再生資源のたい積	<input type="checkbox"/>	○道路等の公共空間から目立たないよう、植栽又は景観に配慮した塀等による遮蔽措置に努める。
<input type="checkbox"/>		○堆積の高さはできる限り低くし、また、整然と積み上げ、敷地周辺に圧迫感や危険性を与えないよう努める。	
<input type="checkbox"/>		◎特に堀に面する場所においては、遮蔽等の景観的措置を行う。	
特定照明	<input type="checkbox"/>	◎周辺の住環境や交通環境、生態系等に対して光害※とならないようにする。	
	<input type="checkbox"/>	○光源の選定(光色または色温度)、照明方法、点灯時間、明るさ等について十分に検討し、投光の目的や地域の景観特性に合ったものとなるよう努める。	
	<input type="checkbox"/>	○特に福井城址から容易に望見できる位置にある建築物においては、眺望景観に与える影響に十分配慮するよう努める。	

※ 光害：良好な照明環境の形成が、漏れ光によって阻害されている状況又はそれによる悪影響

(「光害対策ガイドライン」/環境省)